

整理番号	HT24171	分野	人文・その他 (キーワード) マイクロステップ法, 潜在記憶
------	---------	----	--------------------------------

岡山大学

ひっくり返る「記憶」の常識 ～自分の信じられない学習能力を実感しよう～

先生(代表者)	寺澤 孝文(てらさわつかふみ) 岡山大学大学院教育学研究科・教授				
自己紹介	昔は理科の先生になりたいと思っていましたが、ひょんなことから人間の記憶のしくみを研究するようになりました。記憶力が悪い記憶研究者とよくいわれます。ですが、最近の記憶研究で、人間が 想像もつかなかったすばらしい記憶能力 を持っていることが明らかになってきたおかげで、少し胸を張れるようになってきました。				
開催日時・主な募集対象	平成 24 年 7 月 29 日(日), 8 月 26 日(日)	(対象)	小学 5・6 年生 および保護者 (2 回とも参加 できる人)	(人数)	児 童 20 名 保護者 20 名
集合場所・時間	岡山大学教育学部本館 4 階リフレッシュスペース	(集合時間)	13:30		
開催会場 (集合場所)	岡山大学教育学部本館 4 階 第 1 会議室 住所: 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中 3-1-1 アクセスマップ: http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html				
内 容					
<p>「自分は記憶力が悪い」「勉強しても成績は上がらない」「漢字が覚えられない」などと思いませんか？それは大きな誤解です。毎日のわずかな学習の効果は、着実に、それも想像を超えるほど(少なくとも半年以上)長期に残り続けています。驚くほど微細な学習の効果(潜在記憶といいます)を測定できる最新のテスト技術が開発されました。記憶は消えません。文字通り“驚く”体験をしてもらおうと思います。</p> <p>漢字や英単語などは、何度覚えようとがんばってもなかなか覚えられません。学習の効果は本当に積み重なっていくのか不安になることも多いと思います。「毎日のちょっとした学習の効果は、本当に積み上がっていくのか？」という問いに対して、これまでの科学は答えることが出来ませんでした。ところが、私のところの研究グループが進めているマイクロステップ計測法というテスト技術によって、これまで明らかにできなかった事実が次々と明らかになり始めています。例えば、1000 語の英単語をマスターするのに、毎日 20 分ぐらい勉強をしたとすると何日かかるのか、といったことは、これまで世界の誰も予測できませんでしたが、それが十分可能になってきています。それも、平均ではなく、学習者ごとに予測出来るようになってきています。その学習も体験してもらおうと思います。</p>					
					
<p>マイクロステップ計測法は、任天堂 DS 用の英単語学習ソフトにも導入されています(大学受験もしくは TOEIC の学習に最適化されています)。上のグラフは東京の麻布高校の 4 名の生徒さんの英単語の実</p>					

力の変化を表しています。実力は着実に上昇していきますが、習得にはとても時間がかかることが分かっています。

英単語の学習は小学生にはまだ早いかもしれませんが、漢字のドリル学習も同様で、わずかなドリルでも、その効果はきちんと積み重なっていきます。また、そのように自分の成績が上がっていく様子を目のあたりにすると、つまらないような機械的ドリル学習を学習者が自分から継続するようになることも明確になってきています。その他、まだ論文などになっていない事実も含め、役立ちそうな話を出来たらいいなと思っています。

講座は2日に分けて実施し、各日に1つずつテーマを取り上げ講義や調査、実験を行います。1日目はマイクロステップ計測技術による研究の成果を取り上げ、学習の効果が自覚できないレベルで蓄積されていく事実を説明します。そして2日目は、潜在記憶(記憶が長期に保持される事実)をテーマとして最新の驚くような研究成果を紹介します。

このような内容は、子どもさんに限らず、保護者の方にも真新しい情報ですし、お聴きいただくと興味を持っていただける内容だと思います。そこで、この講座では、保護者とお子さんがそろって受講されることをお勧めします。というより、できるだけそろって受講いただければと思います。

また、1回目の講座で漢字(お子さん)や英単語(保護者)のドリルを配布し、2回目までにそのドリルを使って学習をしてもらい、その用紙を郵送してもらい、データを事前に解析し、個別に成績の上昇をフィードバックできる資料を2日目に配布しようと考えています。親子そろって学習の成果を実感してもらえたらと考えています。

スケジュール		持ち物
時間	内容	・筆記用具
7月29日(日)、8月26日(日)の両日とも参加できる方を募集します。		
7月29日(日)		特記事項 参加希望者が多くなった場合は、保護者と子どもさんと一緒に2日間参加いただける方を優先させていただこうと考えています。
13:30～	受付(教育学部本館4階リフレッシュスペース集合)	
14:00～14:15	開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)	
14:15～14:30	メロディーに関する予備調査	
14:30～15:30	講義「ドリル学習はどのくらい身につくのか？」	
15:30～15:45	休憩	
15:45～16:30	ディスカッション「『記憶』のイメージ」	
16:30～17:30	研究室の見学、研究の実用化例(DSソフト)の体験、クッキータイム	
17:30～18:00	次回の予定と課題の説明(あいさつ、アンケート記入)	
18:00	終了・解散	
8月26日(日)		
13:30～	受付(教育学部本館4階リフレッシュスペース集合)	
14:00～14:15	開講式(あいさつ、オリエンテーション)	
14:15～14:45	体験実験「潜在記憶」	
14:45～15:30	講義「記憶の超長期持続性～記憶の新しい事実～」	
15:30～15:45	休憩	

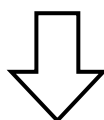
15:45～16:15	講義「研究者になるために必要な力」	
16:15～16:45	クッキータイム(個別の課題返却を含む)	
16:45～17:15	修了式(未来博士号授与・アンケート記入)	
17:15	終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	岡山大学教育学研究科寺澤研究室 坂本 清美
住所：	〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中 3-1-1 教育学部
TEL 番号：	090-2285-7381(坂本)
FAX 番号：	086-251-7582
E-mail：	sakam-k2@cc.okayama-u.ac.jp
申込締切日：	平成24年7月22日(日) (定員に達し次第締め切らせていただきます)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
寺澤孝文	H8- H 9	萌芽的研究	08871011	記憶の超長期永続性の検討
寺澤孝文	H11-13	基盤研究B (展開研究) (2)	11559013	生涯個別学習を可能にするデータ蓄積型CAIシステムー長期学習実験と記憶理論に基づく学習効果予測モジュールの開発ー
寺澤孝文	H14-17	基盤研究(A)	14209010	「経験の変数化」を念頭においた実験計画法に基づく客観的絶対評価の実現
寺澤孝文	H22-26	基盤研究(A)	22240079	縦断的大規模調査法を基礎とした因果推定研究の創出



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。